

## 1 中期学校経営方針

### (1) 学校経営中期取組目標

| 学校経営中期取組目標   |  |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>○「主体的・対話的で深い学び」を展開するために、教師の指導技術の向上、学習規律の確立、課題解決に向けて粘り強く積極的に自ら学び続ける子どもを育て、学力向上を目指します。</li> <li>○保護者・地域社会との連携のもと、物事の善悪をきちんと判断し、社会のルールを守る規範意識や礼儀を大切にする態度を育て、相手を思いやり、尊重する心や態度を育てます。</li> <li>○保護者と協力し、心と体の健康に向かって望ましい生活習慣を身に付け、自ら健康づくりに取り組む子を育てます。</li> <li>○共に生きようとする心を育てるために、学校運営協議会との一層の連携を図り、地域に愛着をもち、将来的に地域の担い手ともなる子を育てます。</li> <li>○「答えのない問題」に最善解を導く総合的な力を養い、自分の未来に夢と希望をもち、力強く生きようとする子どもを育てます。</li> </ul> |  |

### (2) 「豊かな心の育成」に向けた重点取組分野・取組目標・具体的取組

| 重点取組分野 | 取組目標   | 具体的取組  |
|--------|--|--|
| 豊かな心   | 人間関係等の集団生活の在り方や公衆道徳等についての望ましい体験を積めるよう特別活動等の教育課程の内容改善を図る。 | ①だれもが安心して生活できる学校を目指し、道徳の学習や、行事、異学年との交流を通して、多角的な見方や思いやり、他者を尊重する態度を育みます。<br>②児童の主体的な活動を大切にし、自己有用感や自己肯定感が高められるようにします。 |
| 担当     | 道徳部  |  |

## 2 児童（生徒）の実態（「豊かな心の育成」にかかわる課題）

「あいさつを自分からしている。」や「外遊びをよくしている。」という回答は全学年通じて高い結果が出たが、「自分にはよいところがある。」「人の気持ちを考えて行動する。」「最後までやり遂げてうれしかったことがある。」の項目では「そう思う。」の回答が高学年になるほど低く、自己肯定感や自尊感情を高めるための取組が必要である。

## 3 「豊かな心の育成」に関する具体的取組

### 指針1 「道徳の時間」の充実（必須項目） ※道徳教育全体計画・別葉と連動

- ・全学級の道徳授業公開を年一回以上実施する。
- ・道徳的価値について自ら考えるきっかけとなるよう「私たちの道徳」を積極的に活用する。

【視点1】

### 指針2 体験学習の充実

- ・遠足・集団宿泊の体験等を通して、学級集団だけではなく異年令同士のつながりを築くようにする。
- 【視点3】

### **指針3 確かな人権感覚・意識の育成** 【視点6・7】

- ・年2回YPアセスメント、年1回学校をよくするアンケート（いじめ関係）を実施し、結果を分析し個別の問題にはすぐに対応する。
- ・YPアセスメントの結果から、学級集団としての課題を見つけ、必要な「横浜プログラム」を実施する。
- ・人権研修を行い、教員の人権感覚を磨き、子どものサインを見逃さない。

### **指針4 豊かな感性や情操の育成**

- ・読書活動を推進し、感性豊かな心情を育てる。【視点11】
  - 週1回程度の朝読書の時間を設定
  - 週1回程度の保護者・地域の方による読み聞かせの実施
  - 大人と子供のための読み聞かせの会による全校お話会の実施
- ・本物との出会いの機会を多くもつ。【視点10】
  - 地域の材を生かし、協力者による学習の機会をもつ。
  - 「横浜芸術文化プログラム」の実施等
  - 「劇団四季 ことばの教室」の実施等